

算数科指導におけるノート指導、家庭学習の習慣化

杉戸町立高野台小学校

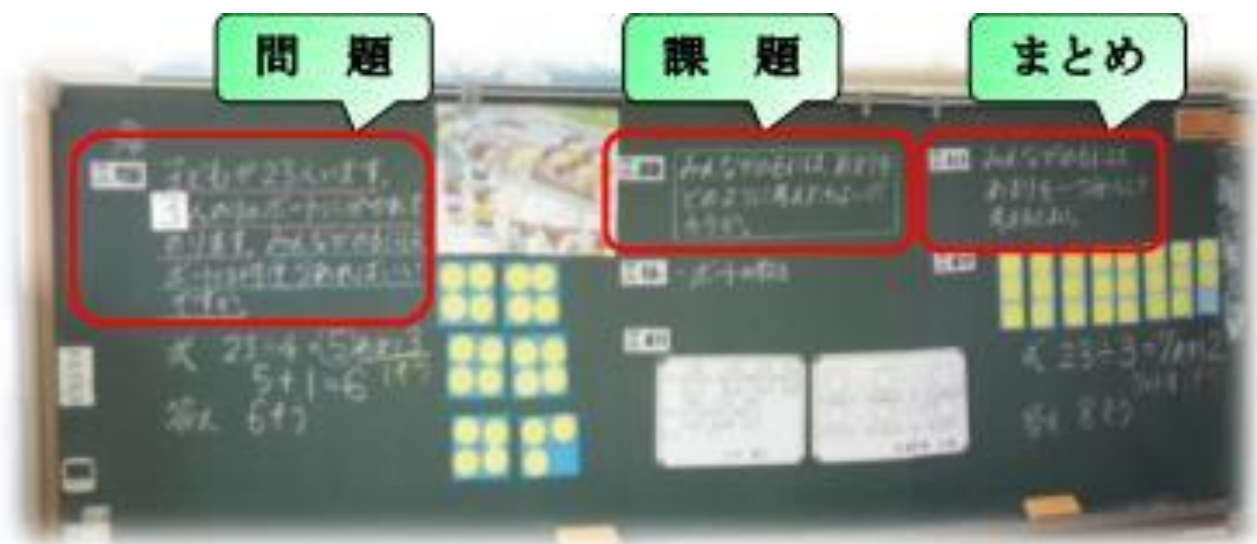
- 1 教科 算数科
- 2 ねらい 算数科指導を通して、問題解決型学習の定着を図るとともに、他の教科においても授業改善が図れるようにする。
- 3 取組内容（ノート指導・家庭学習の習慣化を中心に）

（1）問題解決型学習の工夫

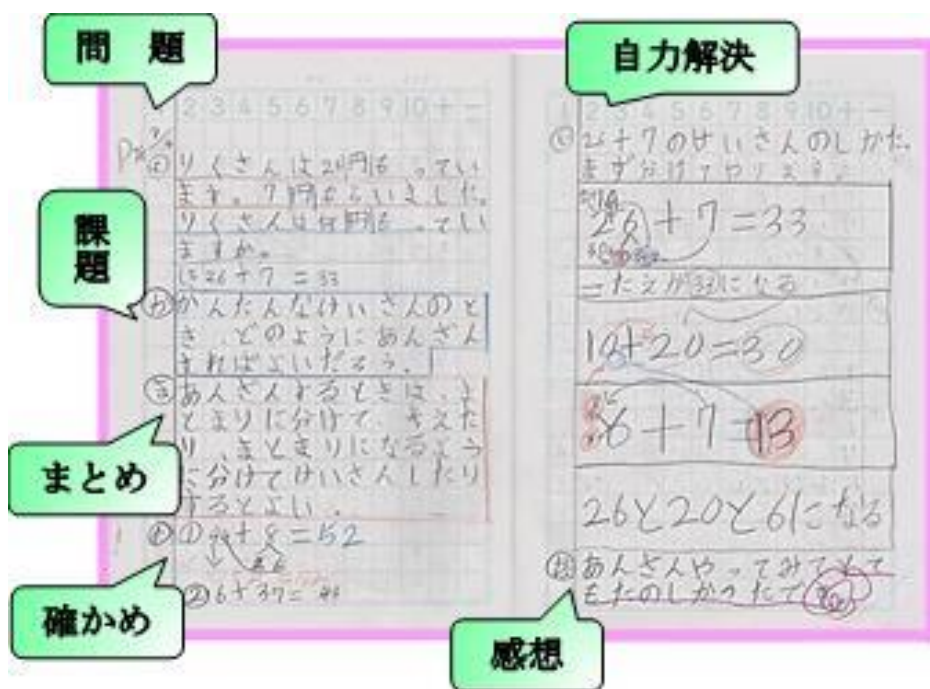
- 課題設定 問題把握から課題を教師が児童とともに設定する。
 - ・問題の数量関係はどうなっているか。
 - ・既習との違いは何か。
 - ・課題を解決するための見通しを児童がもてるように支援していく。
- 練り上げ 比較検討し、考えのよさやつながりを児童とともに見つけながら、明らかにしていく。
 - ・聞き手は、自分の考えと比べながら聞き、大切などころを見つけていく。
 - ・教師は、児童の考えの特長やよさを関連づけやすくするために矢印や波線を使って書き、まとめにつなげる。
- まとめ まとめる段階では課題をどうすれば解決できたか、児童とともに課題に正対したまとめをしていく。

（2）思考の流れがわかる板書と自分の思考がわかるノート指導

- 1時間の学習の流れがわかる。
- 黒板を3分割し、同じ高さに、問題→課題→まとめをつながるように書く。
- 児童の考えは、小黒板に書かせ、練り上げの際に動かしながら整理する。



- 見開き 2 ページ
- ノート左端に覧を設け、日付や見出し等を入れる。
- 指導の流れをたどることができる。
- 本時で学んだことをはっきりさせる。
- よい意見をノートにメモする。
- 感想を入れることで授業のふりかえりができる。



(3) 家庭学習のすすめ

- 家庭と連携した家庭学習の習慣化と自主学習の奨励

かていがくしゅう 高小 家庭学習のすすめ

- 1 家で勉強する時刻を決めておく。
毎日なるべく同じ時刻に始めましょう。それを続け、習慣になると勉強することが楽になります。
- 2 最初に、まず「宿題」をやる。
まず宿題を片付けて、すっきりしましょう。次は、自主学習です。
- 3 復習はその日のうちにやる。
まず、今日学習した内容を、教科書、ノートで振り返ってみましょう。
- 4 時間に余裕があるときには、予習にも挑戦！
次に習うところの教科書を読むだけでも、かなり効果があります。

1・2年生 家庭学習のすすめ

家庭学習を毎日30分以上やります！

家庭学習の内容

くくご

【おんどく】
 ○ たのしみながら、おおきなこえでよめるようにしましょう。
 ○ くどうてん(「」や「。」)に 気をつけて、すらすら よめるように れんしゅう しましょう。
 ○ まいにち つづけて れんしゅう しましょう。

【かくこと】
 ○ 正しいせいで、ていねいに ゆっくり かきましょう。
 ○ ひらがな・カタカナ・かん字を 正しい かきじゆん・かたち・おくりがなで かけるように、ていねいに れんしゅう しましょう。
 ○ ここの きょうかしの ふんを、正しく はやく かきうつせるように れんしゅう しましょう。
 ○ かんじドリルは、3回以上くりかえしましょう。

さんすう

○ かずの よみかた・かきかたを れんしゅう しましょう。
 ○ まずは、ゆっくり たくさん できるように しましょう。
 ○ たたく、けいさん できるように になったら、すこしずつ はやく できるように れんしゅう しましょう。
 ◆ たしざん・ひきざんの れんしゅうを しましょう。
 ◆ かけざんを、べんきょうしたら、九九を すらすら いえるように れんしゅう しましょう。
 ○ けいさんドリルは、3回以上くりかえしましょう。

そのほか

○ たのしかったことや うれしかったことを、じぶんのことばで、えにっきや にっきに かいて みましょう。
 ○ せいかつつかの がくしゅうに かんれんして、おうちでの しごとを チャレンジ しましょう。
 ○ なわとびや てつぼうなど、たいりよくづくりに チャレンジ しましょう。
 ○ けんぼん・ハート二かの れんしゅうを したり、どうしよくぶつのかんざつを ししたり してみましょう。
 ○ すきな本をたくさんよみましょう。

4 成果と課題

- 問題解決型学習・板書・ノート指導・家庭学習等を全校で合わせて取り組むことで、算数だけでなく他の教科にも意欲的に取り組む児童が多くなった。
- 自分の考えを伝える話し合い活動の充実とともに、基礎・基本の定着に差がある。こ

の2極化に対する手立てが家庭との連携を含めて依然必要である。